

INDEX

学んでお得

公正証書遺言 記者が実際に作ってみた

買い物上手

測定手軽な血圧計 家族を守る1台を選ぶ

NIKKEI
プラス1

カラダづくり

通勤時間を活用 つり革体操で体幹強化

産直の旅

佐賀 カキ小屋で食すとれたて竹崎カニ

くらし物語

原因は中学受験? 運動会は春が主流に

何でも **ランキング**

野外フェス 家族で音楽シャワー

複数のアーティストが出演する音楽イベント、夏フェス。野外フェスとも呼ばれ、音と自然との一体感が非日常へ誘う。家族で楽しめる仕掛けも増え、今やアウトドアの定番になりつつある。

1位

ニューアコースティックキャンプ

790票

ゆったり空間(群馬県・水上高原リゾート)

「わらう、うたう、たべる、ねっころがる」がコンセプトで今年で8回目を迎える。ロックやジャズなど様々なジャンルのアーティストが集う。「音楽はアコースティックがテーマなので子どもも楽しめ、秋開催なので熱中症などの心配が少ない」(竹下沙弥香さん)。会場はゴルフ場で芝生が気持ちよく、子どもがはだして遊べる。「ハンモックやお絵描き、ラフティング、ポップコーン作りなどワークショップが豊富で夫連れのお客も多い」(住川亮さん)

「授乳とオムツ替えのテントが完備している」(石原永二郎さん)うえ、「キャンプのレンタルができるのでアウトドア初心者にもやさしい」(渡部都子さん)。「アーティストとの間には柵がなく、来場者のマナーによって成り立っているピースフルな雰囲気」(田中穂二郎さん)が家族向けのフェスとして高い評価を得た。

①開催日 9月16、17日②交通手段 上越新幹線・上毛高原駅とJR水上駅から有料シャトルバス③公式サイト <http://newacousticcamp.com/>



2位

フジロックフェスティバル

740票

自然と共生 幼児にも配慮(新潟県・苗場スキー場)

初開催は1997年。当初は山梨県で開かれ、99年から新潟県に。「フジ」の名はその名残だ。「日本の野外フェスの礎を築いたフェス」(杉岡中さん)で、国内外約200組が参加する国内最大規模のイベント。「夏の苗場に世界中からジャンルを超えてアーティストが集結する。その非日常的な空間そのものが魅力」(高橋修さん)といえる。

自然との共生をテーマに、幼い子どもが遊べる

キッズランドなど親子で楽しめる仕組みが考えられている。「保護者同伴なら中学生までチケット不要でファミリーにやさしい」(渡部さん)。「車、電車ともにアクセスが良い」(雨宮健一さん)点も評価された。音楽と自然と遊びが満喫できる。

①7月28～30日②上越新幹線・越後湯沢駅から有料シャトルバス③<http://www.fujirockfestival.com/>



3位

サマーソニック

560票

洋楽・邦楽の人気者一堂に(千葉市・大阪市)

東京会場(ZOZOマリンスタジアム・幕張メッセ)と大阪会場(舞洲スポーツアイランド)で同日開催される。「ラッパーからアイドル、Kポップまで洋楽、邦楽問わず人気者が一堂に会するラインアップを都会で見られる」(高橋さん)のが魅力だ。「子どもに人気のアーティストによる演奏もあり、盛りだくさんのイベントで楽しめる」(石原さん)

音楽だけではない。「多国籍なフードやスイーツ、体験型ブースなど遊びきれないほどのあらゆる楽しみがいっぱい」(河村亮太さん)。「①8月19、20日②東京会場(千葉市): JR海浜幕張駅から徒歩、大阪会場: 地下鉄コスモスクエア駅から有料シャトルバス③<http://www.summersonic.com/2017/>

